

# RFID機器の電波の安心・安全への取り組み

平成 27 年 5 月

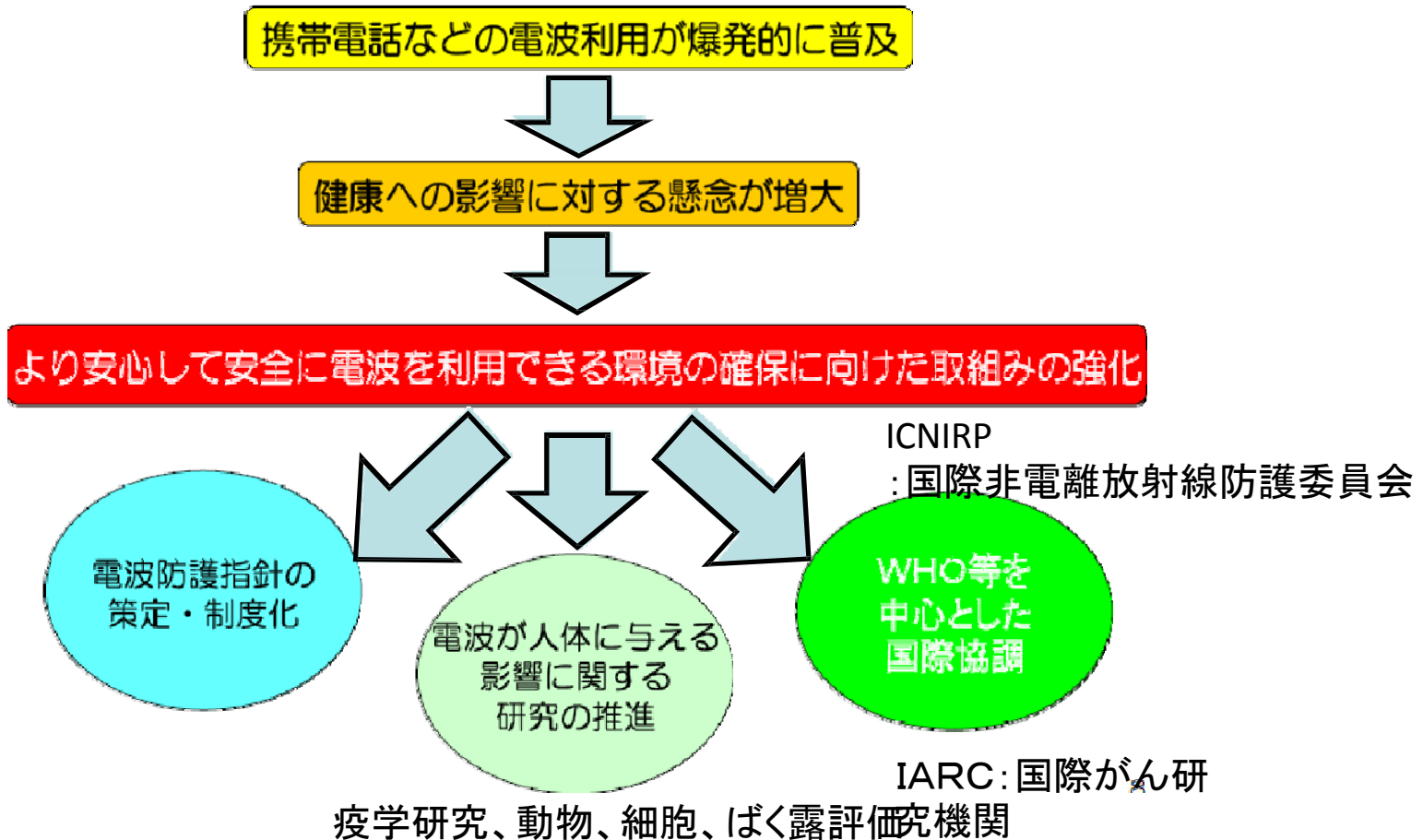
一般社団法人 日本自動認識システム協会

# 1. JAISA の活動

- 電波の生体への影響に関する安全基準として、総務省の電波防護指針があります。
- JAISA では、電波防護指針の運用面での適用支援の目的で、運用者を対象に「RFID 機器における電波防護指針および適合確認方法の解説書」を作成し、指針への適合確認手順を詳しく解説し、安全基準の正しい適用について啓蒙活動を実施しています。
- これによって、利用者の安心・安全を図ります。

## 2.電波防護指針の概要

出所:総務省



## 3. 総務省の電波防護指針(1/2)

- 電波が人体へ与える影響について、長年の研究の蓄積として、電波の主要な作用は、「刺激作用」(100kHz 程度以下)と「熱作用」(100kHz 程度以上)であることが確認されています。
- その他の作用については、生体内の現象と関連した状態で確認されたものではなく、人の健康に支障を及ぼすという事実も示されていません。(平成2年6月)
- 刺激作用および熱作用が影響を及ぼすとされる電波の強さに十分な安全率を考慮した指針として、総務省から電波防護指針(平成2年策定、平成9年追加)が開示されています。<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/medical/protect/>  
(平成26年11月現在)

### 3. 総務省の電波防護指針(2/2)

- 総務省は、「電波防護のための基準への適合確認の手引き」を作成して電波防護指針への具体的な適合確認方法を開示しています。

<http://www.tele.soumu.go.jp/resource/j/material/dwn/guidance.pdf>

(平成 26 年 11 月現在)

- さらに、人体頭部で吸収される電力の比吸収率 (SAR) の許容値 (2W/kg) を強制規格として追加規定しています。  
(平成14年6月)

※比吸収率 (SAR: Specific Absorption Rate) とは、生体が電磁界にさらされることによって単位質量の組織に単位時間に吸収されるエネルギー量をいう。

## 改訂履歴

改訂記号	改訂年月	改訂内容
	平成21年7月	RFID-TR090724として初版発行
Rev. A	平成27年5月	・他のガイドラインとの整合を取るため下記を変更 文章番号をJAISA-RF140022に変更 ヘッダーフッターの追加 総務省HPへのリンク先更新